

# 切込湖・刈込湖

2015年8月16日  
リーダー:市川 克也



## 切込湖・刈込湖 リーダー:市川 克也

今回の山行では2つの心配事項がありました。

- ① お盆期間なので人数が集まらず、バスでの山行が難しいのではないか。
- ② プランより遅れたり、帰りは渋滞になつて、遅くなるのではないか。
- ①については、伊藤会長と及川さんのご尽力とご協力によって14人乗りのレンタカーで安い料金で行くことができました。

②については、ハイキング予定タイムよりも予想以上にかかってしまいましたが、帰りが渋滞にならなかつたため、ほぼ予定通りに帰つてこられました。

この日は涼しい絶好の天気に恵まれ、最高のハイキングになりました。コースは一部きつい登り坂もありましたが、それ以外は比較的歩きやすく変化に富んだ楽しいコースでした。特に印象に残つたのは、刈込湖の砂地の湖畔から見たエメラルドグリーンの湖面が広がる景色です。伝説では勝道上人が村人を苦しめていた大蛇を征伐して死骸を湖に沈めたということからの命名だということですが、そのような伝説には似つかわしくない神秘的で美しい湖でした。湖の水は流れ出る沢がなく地下に吸い込まれていくのですが、そこからどこへ行くのかは謎です…。また、眼下に広大な草原が広がる涸沼を見ながらの昼食も最高でした。高い山ばかりが山の魅力ではない。近場でそれほど高い山でなくとも、このように来てよかつたなあと思える所はたくさんあるんだなあと。あらためてハイキングというもの魅力を感じた山行でした。また、冗談を言つたり、プライベートな話に盛り上がつたりと皆が和気あいあいとした雰囲気で歩いていたのもよかったです。特に村田ご夫妻にとっては、結婚する前の42年前に訪れたデートコースということで、感慨深いものがあったと思います。また来ることができてよかったです!

① 潟沼にて(12:05) ↑  
② 先頭を歩く市川リーダー (13:20) ↓



ハイキング後は中禅寺金谷ホテルでの入浴と伊藤会長おすすめの日光NO. 2のうまいそば屋を訪ましたが、そこでも楽しい時間を過ごすことができました。大きな蕎麦がきと個性のある味のそばはビールが進み、会話がはずみました。次はぜひ、NO. 1のそば屋を教えて頂きたいと思うのは、自分だけでしょうか…?

今回もまた思い出に残る山行になりました。これも会長をはじめ、皆さんひとりひとりとの出会いとご尽力とご協力があったからこそです。今後も感謝の気持ちを忘れずに、皆でよりよい遊友ハイキングクラブにしていきたいですね!



GPS 軌跡 (地図の中の番号は写真の撮影位置を表しています)

平面距離:8.0km、沿面距離:8.2km、記録時間:04:26:13  
最高高度:1747m、最低高度:1428m、累計高度(+):591m、累計高度(-):652m  
平均速度:1.8km/h、最高速度:5.3km/h

## 切込湖・刈込湖 村田正博

8月の切込湖、刈込湖山行は、市川リーダーの完璧な準備と伊藤会長のサポートと天気にも恵まれ、ブルーの湖と、緑の影の景色と、硫黄の臭いを感じる温泉、濃厚な十割蕎麦と満足度の多い山行でした。このコースは、我々夫婦が結婚する一年前(42年前)に初めて遠出した思い出のコースでも有りました。当時の家の感想は、「遅れないように正博さんの足元だけしか見ていかなかった!」と言っていましたが、あれから40年…今は精神的に私が家内の足の動きについていってるように思う今日この頃です^0^



③ 涸沼で昼食中の村田ご夫妻(11:57) ↑



④ 刈込湖に到着(10:23) ↑



⑤ 切込湖へ向かう途中休憩(09:54) ↑

## 8月の山行に参加して 吉村恵子

久しぶりに山行に参加させて頂いて楽しい1日でした。リーダーの市川さん、会計の清水さん、北山さん、会長。そして皆様有難う御座いました。  
蕎麦搔も初めて食べる味でとても美味しかったです。ハイキングコースですが、久しぶりの私には少々きつく、無事に歩けてホットしました。  
憧れの金谷ホテルのお風呂も良かったです。  
御世話になり有難うございました。  
(写真:前列右が吉村さん)



⑥ 涸沼から下山(12:11) ↑

## 切込湖・刈込湖ハイキングに参加して 戸邊茂雄

8月16日(日)、奥日光の切込湖・刈込湖ハイキングに参加しました。切込湖・刈込湖は日光開山の祖、勝道上人が大蛇を討伐したという伝説にその名が由来します。風の音しか聞こえない湖はまさに神秘そのものです。ハイキングコースは、奥日光湯元温泉を出発し、源泉地を通り抜け金精道路へ出て、小峠を経て最初の目的地刈込湖へ向かいます。刈込湖から切込湖畔を進み、涸沼(かれぬま)へ。さらに涸沼から山王峠を越えて光徳を目指す、全長約8kmのコースです。

朝5:45にせんげん台から私を含めて4名がレンタルのバスに乗車し、6:00に春日部で9名が乗車して、0川ドライバーを含めて合計14名で出発しました。車は満席で荷物棚もなくぎゅうぎゅう詰です。6:23に久喜ICから東北自動車道に入り、7:15に大谷PAでトイレ休憩をして日光に向かいました。そして車は順調に走り、8:30に湯元温泉に到着です。

湯元温泉到着後は、トイレを済ませ、I川リーダーの音頭で準備体操をして8:50にハイキングスタートです。まずは日光山温泉寺でお参りをして、源泉地を通り抜け階段状の急な登りを上がり切ると金精道路に出ます。道路を横切って小峠に向かいますが、この辺は緩やかな登りです。9:40に小峠に到着して小休憩です。更に進んで行くと石段があり、階段状の道を進んで行くと10:20に刈込湖に到着しました。湖に下りて写真を撮ったりした後、湖の横の山道を進んで行くと今度は切込湖です。二つの湖は繋がっております。切込湖は眺めながら通り過ぎて、しばらくすると下りになり、下ったところが涸沼です。涸沼には11:20に到着して、ここで昼食をとりました。12:00に涸沼を後にし、急な木段を登り、山王峠に向かいます。12:25に山王峠に着きました。この標高が1,739mで今回



⑦ 切込湖から涸沼の途中休憩(11:12) ↑

のハイキングコースの中で最も高い標高です。ここからは山王林道を下り、終点の光徳牧場を目指します。13:15に光徳牧場に到着しました。そこで待っていたレンタカーに乗り込み、入浴予定の中禅寺金谷ホテルに向かいました。13:40～14:20まで温泉に浸かってから急いで蕎麦屋に向かいました。I藤会長おすすめの美味しい蕎麦屋「かつら」は立木観音のすぐ手前にありました。お勧めの蕎麦搔定食(¥1,620)とビールを頂きました。お腹が満たされた後は、コンビニでお酒を買って行きと同じルートで帰ります。お盆の帰省帰りで渋滞を予想しておりましたが、さほどの渋滞にはならず、羽生PAで一度トイレ休憩をして、18:40に春日部に到着です。私達せんげん台組は19:00にせんげん台に到着です。今回は皆、お腹が一杯という事なので私一人で反省会をしようといつもの中華食堂に入ったら満席で、更に待っているお客様がいる有り様です。仕方なく今回は反省会無しで19:25帰宅となりました。

今回もお天気に恵まれ、楽しいハイキングとなりました。高級ホテルでの温泉入浴や美味しい蕎麦といったおまけも付き満足でした。I川リーダーはじめ皆様ありがとうございました。

## 2015年9月山行の案内

**天覧山から巾着田へ** 9月は電車を利用するハイキングです!山組は明治天皇が軍事演習を視察したことから名が付けられた「天覧山」を登り、秋には100万本の曼殊沙華に辺り一面が真紅に染まり、まるで赤い絨毯を敷き詰めたような景色の巾着田へ。一方、悠々組は高麗人が切り開いた地を高麗神社、聖天院を巡り、巾着田で山組と合流します。“昼食は合流した巾着田で”

**【日時】** 9月20日(日)

**【集合】** 07:10 春日部駅 大宮方面行きホーム前方

**【行程】** 春日部駅発07:15→大宮駅着07:38／大宮駅発07:56→川越駅着08:18／川越駅発08:26→高麗駅着08:50／高麗駅発09:00→東飯能駅着09:07  
悠々組は高麗駅で下車します。山組は東飯能まで行きます。お間違えのないように!

**【持ち物】** 雨具、昼食 パスモ、スイカは必ずチャージ(¥3000)してご用意ください。  
靴は悠々組はウォーキングシューズを使用してください。

**【入浴】** 今回、入浴はありません

**【リーダー】** 山組：佐藤 きよみ、 悠々組：品川 弘